

なのはなだより

NANOHANA DAYORI

No. **67**

March 2012

NANOHANA DAYORI



「ほろの里」今田中心の通リバス「バリエーション」

INDEX

1 2

トレンドTOPIX 潮流
しゅうりゅう

「介護報酬の改定が決定!!」
介護給付費分科会は諮問・答申

フォーカス「老健ちば」

〈管理者(施設長)研修会〉

3 4

〈特集 ころほうレポート〉つくも苑

「逆訪問の取り組みについて」

～施設と在宅の壁を越えて

利用者・家族に何が出来るか?～

5 6

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

「私の休日」

やすらぎ

福山 隆司(事務部)

ST分科会よりお知らせ

7

〈なのはなスマイル〉施設の笑顔紹介

●つばとくびさ

●光栄館

〈編集後記〉



<http://www.chiba-roken.jp/>

平成24年3月23日 発行

●発行者/千葉県老人保健施設協議会 ●編集者/広報委員会

●〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-250-7352 FAX:043-286-0661

介護報酬の改定が決定されたが
実質的にはマイナス改定
となってしまった。



潮流

トレンド
TOPIX
ちょうりゅう

ニ
ユ
ー
ス
ウ
オ
ツ
チ

「介護報酬の改定が決定!!」 介護給付費分科会は諮問・答申

社 会保障審議会介護給付費分科会

は1月25日、4月からの介護報酬改定について諮問を受け、原案通り答申した。改定率は+1.2%（在宅1%、施設0.2%）だが、介護職員処遇改善交付金を報酬内に組み入れるために必要とされた2%分は確保できず、実質的にはマイナス改定。改定の概要は以下の通り。

「処遇改善加算」

介護職処遇改善交付金の廃止に伴い、介護報酬の中に「処遇改善加算」が創設される。介護職員だけが対象で、介護職員の配置により、サービスごとに、1.1~4.2%までの加算が設定される。基本サービス費に各種加算減算を加えた総単位に加算率を加えた額が報酬に上乘せされる。

■サービス別加算率（老健関係部分のみ抜粋）

(介護予防)通所リハビリテーション	1.7%
(介護予防)短期入所療養介護	1.5%
介護老人保健施設	1.5%

「介護老人保健施設」

介護老人保健施設は介護度に応じて2~3%程度のマイナス。唯一、プラス改定になるのが、新たに創設された在宅復帰強化型と言われる類型だ。6ヶ月の退所者のうち、在宅で介護をうけることになった人が50%以上の在宅復帰要件のほか、1ヶ月の退所者が入所者の1割以上とするベットの回転率要件、軽い人ばかり入所させ成績をよくしないための重度者要件があり、「かなり厳しい」内容。「在宅復帰・在宅療養支援加算」は1日21単位。一方、ターミナルケア加算も、施設内で死亡した場合は1650単位の加算が算定できるようになる。入院しなくて済むよう肺炎等の簡単な治療については、7日間を限度に1日300単位が算定できるようになる。症状が悪化し、在宅での生活継続が困難になった認知症患者を受け入れた場合に、「認知症行動・心理症状緊急対応加算」が算定できるようになる。1日200単位、7日間が上限。

「地域区分」

都市部の物価に配慮した報酬水準にするため、国家公務員の級地区分の見直しにあわせて、地域割の区分はこれまでの5区分から7区分になる。級地区分の見直しの際には、全体の報酬を引き下げて、加算財源をねん出したのにあわせ、介護報酬でも、引き下げが検討されていたが、加算のない「その他」地域の事業所が多く、マイナス改定の影響が大きいことから、最終的には見送られることになった。

シルバー新報 1/27 記事一部抜粋。

		1級地 (特別区)	2級地 (特甲地)	3級地 (特甲地)	4級地 (特甲地)	5級地 (甲地)	6級地 (乙地)
上乘せ 割合	変更後	18%	15%	12%	10%	6%	3%
	(現行)	18%	10%	10%	10%	6%	5%
人件費 割合	70%	11.26 (0.21)	11.05 (0.35)	10.84 (0.14)	10.70 (0)	10.42 (0)	10.21 (▲0.14)
	55%	10.99 (0.16)	10.83 (0.28)	10.66 (0.11)	10.55 (0)	10.33 (0)	10.17 (▲0.11)
	45%	10.81 (0.13)	10.68 (0.23)	10.54 (0.09)	10.45 (0)	10.27 (0)	10.14 (▲0.09)

*単位円。()内の数字は見直し前後の差。



FOCUS

フォーカス 老健 ちば ば

FOCUS
ROKEN
CHIBA

千葉県の老人保健について
～団塊の世代を
いかに見送るか～



管理者（施設長）研修会

平成24年1月31日（火）、京成ホテルミラマール6階ロズルームにおいて、28施設総勢35名参加の下、平成23年度管理者（施設長）研修会が開催されました。

平山会長からの挨拶の後、千葉県健康福祉部保健医療担当部長 井上肇氏より、「千葉県の老人保健について～団塊の世代をいかに見送るか～」



のお話がありました。その中で、これからの10年間で高齢者が5割増加し、2060年が高齢化のピークとなるとという具体的な数字が示されました。また、東京首都圏は「世界最速で老いている世界最大の都市」として世界中に認識されているということです。その中でも千葉県は、医師数、看護師数、病床数のいずれもが全国45位とのこと。そのような環境下で4月からの改定もあり、私たち老健施設は、ますます厳しい時代に突入するということを改めて認識させられました。

続いて千葉県健康福祉部 医療整備課管理指導室 主査 永山伸太郎氏より、「地方分権関係について」のお話がありました。これは、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進、また介護サービスの基盤強化を目的としており、介護老人保健施設の基準の一部を県が条例で定める、介護老人保健施設に関する都道府県の権限の一部を政令市・中核市へ移譲、などの内容となります。また、平山会長より、「老

管理者研修会



人保健施設の家庭復帰」と題し、昭和62年モデル事業として全国7施設から始まった老健の歩みと昨今の家庭復帰の現状を踏まえ、今後は老健も施設外活動を積極的に行い、在宅支援に努力すべきであるとお話していただきました。

そして(株)損害保険ジャパン 営業企画部確定拠出年金推進室 日暮成幸氏より「全老健年金パートナーについて」のお話がありました。

最後に、懇親会が催され、参加者同士の親睦が和やかに図られて閉会いたしました。



「逆訪問」は、利用者とご家族にとつて
 納得するゴール（方向性）
 をつくるキツカケの
 ための取り組み。

2月6日（月）に広報委員会は、施設と在宅の壁を越えて、ご利用者ご家族の皆さまに「つながっていることの良さ」をご提供する「逆訪問」の取り組みを実施しているつくも苑さんに取材に行ってきました。

23年度研究事例発表大会で
 最優秀賞を受賞▶



「逆訪問の取り組みについて」

施設と在宅の壁を越えて
 利用者・家族に何ができるか？

今後の展望

今後は、方向性について話し合い、利用者・家族ともに納得のいくゴールを見つけていこうと考えています。また、他の入苑者の方にも、ケースは全くちがうが逆訪問をキツカケに家族とのつながりを感じて頂き、方向性について考えていけるようにしていきたいと思ひます。

他の職種をどう取りまとめたか？

マンパワーの問題があつたが、逆訪問を行うことでのメリットや、現在、施設が抱える問題としてとりあげ、説明し協力を得て行う事ができました。カンファレンスを行う際にはケアマネ・相談員がご家族・現場との調整を図り、介護ではシフトの調整をして時間をつくり、Dr・ナースでは医療面についての注意事項、リハビリスタッフからは身体的・精神的な面での注意事項等を協議しながら行うことができました。

他の23年度演題取り組み

- ・第17回千葉県理学療法士学会
 当施設に入所した大腿骨頸部骨折患者の
 3ヶ月後の歩行とADL能力について

介護福祉士の古美山さん▶





つくも苑

住所：茂原市六ツ野1841 電話：0475-25-5335

開設：平成元年4月 入所：150名 通所：20名

「逆訪問を行ったことで施設においても自宅・ご家族と繋がっていることを確認でき良好な関係性を築き上げることができると感じました。それぞれの人生があり、一概にこれが良いというものはなく、それぞれの方でご本人・ご家族の納得の行く方向性を探し、安心した日々が送られ、それぞれが「よかった」と思える人生を実現していくことが求められていると思います。」と語ってくれた介護士古美山さん。

その後、介護士の井上さん、鈴木さんからも逆訪問についてのご説明をいただきました。

逆訪問 事例レポート

- 対象者：M・Mさん
- 期間：H23.5月~10月
- 訪問回数：月に1~2回のペースで
2~3hの時間で訪問



つくも苑スタッフ(右)と広報委員(左)

この演題に取り組んだきっかけ

以前、訪問介護をした経験があり、家族と利用者のつながりを身近に感じ、自宅で過ごす良さ・家族と過ごす事・つながっていることの良さを改めて感じられました。しかし、ヘルパーとしての関わりには時間・ケア内容での制限があり、老健(施設)であればもっとできる事が沢山あり、また、家族・利用者がつながりを感じられあきらめではなく、納得するゴール(方向性)をつくるキッカケができればと研究に取り組みました。

方法

アセスメントを行い、問題と合っている事(ニーズ)を挙げ、カンファレンスを行う。逆訪問の説明・注意事項・家族の希望等を知り逆訪問を行う。(課題を一つ一つクリアしていき最終目標までの支援を行う。)また、逆訪問一回ごとにモニタリングを行い定期的にカンファレンスを行う。

経過

その後は、感染症予防等の為に行えていなかったが、家族より電話がきて、本人より被害妄想的なことを言われ困っている。訪問を少しひかえてほしい。との相談あり、カンファレンスを行い今後の方向性について話し合いをしていく。その際に家族にも分かりやすいように目的・ケア内容・問題点・今後の課題(支援内容)についての用紙を作成し説明していくようにしている。

◀介護福祉士の井上さん

研修会報告

第2回 支援相談員部会報告



支援相談員副部会長
葵の園 沼南
山下 晃生

平成24年2月3日(金)千葉県教育会館を会場に「平成23年度 第2回支援相談員部会」が開催されました。当日は49施設54名の方々が参加され講義や情報交換を行いました。

今回は(株)フォーサイトコンサルティングの浅野陸氏に「老健施設におけるリスクマネジメントと支援相談員の役割」というテーマでご講義をいただきました。

リスクマネジメントは様々な分野、場所を取り組まれていて企業を運営するためには必要不可欠なものであると思います。その取組みを展開させていくために必要なことを途中事例なども織り交ぜながら、リスクの意味から事故発生後の対応などのお話をいただくことができました。

施設におけるリスクマネジメントは、施設に所属する様々な職種で取組む必要があります。リスクに対する考え方

や意識をまとめていくことになると思います。今回の内容はその際に施設の相談窓口である支援相談員としての役割に関わっていけばいいのかわかりにくいところも、より質の高い取組みにするためのポイントを説明いただくことができたと思います。施設にとって必要不可欠なリスクマネジメントについて自身にとって得るものがあつた内容でした。

今年度は支援相談員部会で今回の「老健施設における支援相談員の役割」と「有料老人ホームと高専賃」を、研修会では「相談員の支援力」をテーマとして講師の方々をお招きして開催させていただきました。無事終えることができました。参加していただいた皆様の今後の業務のご参考になれば幸いです。



事務職員研修会報告

2月21日(火)に千葉県教育会館新館にて「事務職員研修会」が開催されました。

23施設24名の参加でした。オリエンテーションの後に、曾我社会保険労務士事務所の曾我浩氏より「介護施設における労使トラブル」と題して講義を受けました。多発する労使トラブルをいかにして未然に防ぐかなどとても参考になりました。その後は、グループに分かれ討議・情報交換を行いました。研修会を終了しました。



参加者の感想



カトレアンホーム
総務課
細井 翔平

事務職員研修会に参加して

介護施設における労使トラブルについての講義を受け、残業・雇用関係での事例を多くお話し頂き、とても参考になりました。特に残業に関しては、どの施設でも残業が発生しやすい状況で、適切な対応がいかに重要であるか再認識できた良い機会でした。

若でも言われているように介護はとても厳しい労働環境ではあります。事務職員として、職員がモチベーションを保ち、安心して働ける職場環境の整備にこれからは努めたいと思います。





『私の休日』

やすらぎ

福山 隆司(事務部)

現在、ボランティアで少年野球のコーチをしています。原則、休日と土曜日に活動しています。10年くらい前、息子(次男・当時小二)が野球をやりたいのでどこかのチームに入りたいと頼まれました。(私は学生時代野球をやっており、いずれ子供にも教えたいと思っていたので、内心嬉しく思いました。)近所のチームに入部させたのですが、そのチーム関係者に私が野球の経験者ということが知られており、セットのように親子2人で行りました。(長男も2ヶ月遅れでちよつといいやながら入部。)

現在、約40名強(うち女の子3名)の子供が参加しており、3つの小学校の児童が来ています。チーム構成は、6年生、5年生、4年生以下の3つのカテゴリーとなっており、私は現在4年生以下を担当しています。昨年までは高学年、特に6年生と行動することが殆どでしたので、1・2年生の子供達相手に、最初はどう指導していけばいいのか戸惑いましたが、何とか子供達と一緒に成長させて頂いているという感じです。現在50歳を少し越し



ましたが、子供達と一緒に動き、バッテングピッチャー(大体1時間以上は投げます。)もやり、いつもいい汗をかき、健康管理にも繋がっていると感じています。この活動の魅力は、子供達の1年1年の成長が手に取るように分かり、共に一喜一憂できることだと思えます。また、私は指導するにあたり、好きになって始めた野球をこの先も継続してくれることを願いながら行っています。P.S. 私の子供達は中学では野球部に入りませんでした。

Information

ST分科会より

お知らせ

ST分科会 会長 坪木 陽子

(我孫子ロイヤルケアセンター)

言語聴覚士(ST)分科会では年2回の勉強会を行っています。平成23年度第1回は9月に「摂食・嚥下に対する取り組み」について情報交換を行いました。第2回は1月に千葉県言語聴覚士会介護保険委員会と共催にて「維持期だからこそできた関わり」をテーマに症例発表を中心とした勉強会を行いました。

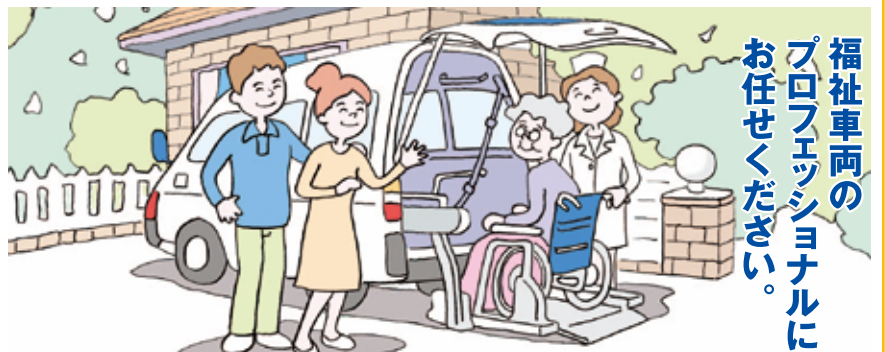
4月には介護報酬の改定も控えています。そこで、平成24年度第1回の勉強会は千葉県言語聴覚士会介護保険委員会と共催で、介護報酬の改定について7月の開催を予定しています。

介護老人保健施設勤務のSTは一人職場の環境にある方も少なくありません。分科会は、新人からベテランまでのSTが10名前後集まり、何でも話し合えるアットホームな雰囲気で行われています。日頃の悩みや相談事などを語り合い、交流の場として、皆様の参加をお待ちしております。



福祉車両の販売・メンテナンス
インジニアス株式会社

〒114-0004 東京都北区堀船3-32-11 tel.03-5390-2311
フリーダイヤル 0120-023-238



福祉車両の
プロフェッショナルに
お任せください。

ホームページにて **福祉のひろば** を開設しました。
無料掲載をご希望の施設様はお問い合わせ下さい。

<http://www.ingenious.co.jp/>



な の は な
ス マ イ ル



…施設の笑顔紹介



古刹が多く歴史のある街といわれる市川市の北東、大町台地に梨の花に囲まれ『つばさくらぶ』があります。ご利用される方のプライド、プライバシー、パーソナリティーに配慮して、ご自分の家で過ごすような空間をめざし、職員全員がスマイルで頑張っています。

お年寄りにとって、一日は本当に貴重な時間です。新婚で喜びにあふれた僕が、みんなに幸せを配ります。

●つばさくらぶ
介護職 松原 民司



■つばさくらぶ

住所：市川市柏井町4-296-2
電話：047-303-7711
開設日：平成16年9月1日
入所：100名
通所：30名



千葉県南端にある「光栄館」は、地域の皆様に支えられ、20年目を迎えることが出来ました。ご利用者様やそのご家族様に『光栄館を選んで良かった!』と満足していただけるようなお世話を心がけております。

“笑顔”を大切に仕事を頑張っています。元気の源はご利用者様の笑顔です。ご利用者様・職員ともに明るく元気で笑顔があふれる光栄館が大好きです!

●光栄館
介護福祉士 西谷 奈々子



■光栄館

住所：南房総市谷向166-1
電話：0470-36-2323
開設日：平成4年4月1日
入所：100名
通所：24名

●編集後記

- 一番上の娘が、とうとう4月から中学生です。月日が流れるのは早いですがね～(*-*)部活を何にするか検討中です。真ん中の娘は、親のせいか自由奔放で、たまに学校をサボって祖母と韓流ドラマを観ています。ある意味将来が楽しみです!! 問題は一番下のチビ…ドリフターズが好きで、よく保育園でマネをして怒られています(T▽T)(原)
- 長い1年でした。「私自身が何を大切に想って暮らしているのか?」問い続けました。当たり前であった暮らしがいかにか贅沢な暮らしで、多くの罪無き人々の負担に支えられて成立していた事に気付くことができました。自身の醜さを受け止めなければならない日々でした。忘れ去らず、風化させない行動を心がけます。(若林)
- 先日大学のクラス会に行ってきました。いつも場所が東京のため、参加を見送っていたのですが、今回は幹事からの強力なプッシュ攻撃に負け、数年ぶりの参加となりました。以前行ったときは、某有名企業の幹部職や役員、肩書きが付いた名刺を貰い、理解できない経済用語が飛び交う会話に入れずに片隅でひっそりとしておりました。しかし今回の会話の中心は、数年後に控えている定年後の生活のことや身体の不調・健康問題が多く、やっと皆さんの輪に入ることが出来ました(^o^*)でも、ちょっと待て…「光陰矢のごとし」、自分がそれだけ老年期に近づいてきたってこと?(!!"!!)(斎藤)

- 2月29日(水)ついに初孫が誕生いたしましたヽ(´▽´)ノ3,068グラムの元気な女の子です。4年に1度の誕生日だけでも、それもレアでいいかも。おめめばっちりの美人ですよ。もうすでに、祖母バカ全開で～す。ちなみに、うるう年生まれの有名人は作家の赤川次郎、女優の飯島直子さんがいるとのこと。将来楽しみ(・∀・)片月(坂本)
- あの地震災害から1年が経ちました。皆さんにとってどのような1年でしたか? 私はとても早く感じました。これといって大きな変化はありませんでしたが3月に開設から一緒に仕事をしてきた同僚が退職しました。すごく寂しいものがありますがこれからも頑張れとエールを送ります。自分とはという介護報酬の改定等で忙しくなることでしょう。(神作)
- ようやく、春らしくなりスポーツ観戦の楽しみな時期となりました。昨年は、子供が小さく外出といった定番の場所がほとんどでしたが、2歳になっておしゃべりも達者になった娘と野球・サッカーにと楽しめたらと思っています。たまに、嫌がられ、ちょっとへこむこともある毎日です。(佐々木)

